

令和6年度事業計画

基本方針

1. 法人事務局
2. ケアハウスやすらぎの里
3. 大庭デイサービスセンター
4. グループホーム太陽の里
5. グループホーム本郷
6. グループホーム東出雲
7. 東出雲デイサービスセンター
8. 太陽の里デイサービスセンター
9. 住宅型有料老人ホーム太陽の里 管理受託事業

社会福祉法人 敬仁会

【基本方針】

リニューアル「刷新」

社会福祉法人敬仁会は平成11年9月法人設立の後、平成12年4月の事業運営開始から数えて令和6年4月で24周年を迎えます。本館でのサービスが開始された後も新館の増築や太陽の里の新築、グループホーム本郷やグループホーム東出雲の開設と大きく事業を展開し、四半世紀にわたって松江市内の福祉介護事業をリードしてきました。

しかし、ここ数年間のコロナ禍による利用者の受け入れ制限や、慢性的な介護スタッフの人員不足などの課題を抱えて、やむなく閉鎖せざるを得なかったサービス事業もありました。佐草本部の施設も建設されて久しく、施設や設備の老朽化による修繕が必要な箇所も多くみられるようになってきました。また国の進めるICTや介護ロボットなど先進的な介護環境整備の必要性も出てきています。これは当法人だけの問題ではなく、2025年に団塊の世代が後期高齢者となる介護業界全体が共通に抱える課題でもあります。

私たち社会福祉法人敬仁会は、このように国民の4人に1人が75歳以上という超高齢化社会を支える介護福祉の最前線に立つものとしての使命を自覚し、経営基盤を確立して気持ち新たに出発の原点に立ち返りたいと思います。

その決意を込めて基本方針を「リニューアル(刷新)」とします。

◎リニューアル(刷新) その1 サービス品質の向上

利用者様の満足度を高めるために、サービスの質を向上させることが重要です。そのためスタッフの研修やスキルアッププログラムの充実、施設内の環境整備、利用者様のニーズに合ったカスタマイズされたサービスの提供を行います。

- ① スタッフ研修会と、毎月1回の外国人材の日本語教育と介護研修
- ② 老朽化した施設ならびに太陽の里デイサービスセンターの一部改修工事
- ③ 東出雲デイサービスセンターの再開

◎リニューアル(刷新) その2 地域連携の強化

地域社会との連携を強化し、利用者様がより豊かな生活を送れるようにサポートすることが求められます。地域の医療機関、福祉施設、ボランティア団体との協力や情報共有を進め、利用者様のニーズに合ったサービスを提供できるようにします。

- ① 敬仁会まつりの再開
- ② 介護を学ぶ学生や介護ボランティアの受け入れ

◎リニューアル(刷新) その3 組織文化の改善

スタッフのモチベーション向上やコミュニケーションの改善、職場環境の整備など、組織文化の健全化が必要です。スタッフがやりがいを感じ、協力しやすい環境を整えることで、サービスの質の向上につなげます。

- ① 新年度出発式の開催や互助会イベントの奨励(事業実績報告会を兼ねる)
- ② 施設内Wi-Fi環境整備とインカムやタブレット導入などICT化への準備開始

基本方針に基づき、これら1. 2. 3. の計画を着実に遂行するためにも、まず経営基盤の確立が最も重要な課題となります。金融機関との信頼関係の下で経費の削減に努め、入居利用率の向上を目指していきます。

現在の経営状況について

令和5年度は、前年度から続く職員の離職による人員不足の為、事業所の休止や廃止を行わざるを得なくなりました。人員不足の影響はコロナ禍もあり各事業所での利用者の受入制限に繋がり、これら稼働の低迷が続いたことによる収入の減少により資金繰りの悪化を招き、経営的に厳しい状況が続いています。この状況を改善するため、当法人としては今後10年の収支計画に基づきメインバンクの支援を受け、長期的な資金繰りの改善を行うとともに、日本人介護人材の確保と共にベトナムからの特定技能1号の優秀な外国人労働者の人材確保にも努めていきます。

休止事業の再開に向けて

令和5年8月から休止中の東出雲デイサービスセンターは、法人内の調整ならびに行政の担当部局との協議を進め、今期後半までにサービス提供を再開します。また一部改修工事を実施予定の元太陽の里デイサービスセンターも、同様に今期後半までのサービス再開を目指します。それぞれのサービスの在り方については職員スタッフの意見を取り入れ、居宅介護支援事業所とも連携して、他の事業所に引けを取らない、地域に親しまれる事業所を目指します。

事業の稼働率向上について

ケアハウスやすらぎの里、グループホーム太陽の里、グループホーム本郷、グループホーム東出雲の入居系事業所は、満床維持を図ることで安定した収益を出すことが期待出来るため、常に待機者確保に心掛けねばなりません。

とりわけケアハウスやすらぎの里の定員到達は、当法人の最も大きな収益の柱ですので早急に人的資源の配置などを図るなどの対策を練っていきます。大庭デイサービスなど通所系事業所も同様に定員到達を早期に実現し、収益増加に向けて努力いたします。

令和6年度は全事業所が前年を上回る稼働率を目指し、その状態を維持できるよう経営陣と職員スタッフ一同、一丸となって取組んでいきます。

社会福祉法人敬仁会
理事長 杉原 有

【法人事務局】

法人事務局の使命

社会福祉法人敬仁会の法人事務局は、法人全体の運営や調整を担当しています。以下は、その果たすべき主な業務内容となります。

1. 定款や諸規程の制定と改廃

法人の基本的な規則やルールを策定し、必要に応じて改訂する役割。

2. 財務統括と予算編成

法人全体の財政管理を行い、予算の立案から決算までを担当。

3. 人事管理と職員研修

職員の採用、人事全般、就業規則の運用、研修計画の立案。

4. 法人の中長期計画の進行管理

法人の長期的な目標を達成するための計画を立て、進捗を管理。

5. 調査研究と情報公開

行政施策や他の社会福祉法人の調査・研究と、個人情報と情報公開に関する対応。

これらの業務は、いずれも法人が円滑に運営されるために重要な役割ですが、振り返ればその使命を十分に果たし得ていなかったことを反省しています。

令和6年度を迎えるにあたり、課題となっている介護福祉人材の採用と定着、ならびに休止事業所の再開など、経営の再建に向けて事務局としての役割を果たしていきたいと考えています。また大きく変化していく介護福祉業界の展望を見据えて、経営責任を持つ理事長ならびに理事会に的確な情報提供が出来るようにしてまいります。

人材確保について

介護福祉業界を取り巻く人員不足の影響は深刻であり、安定した運営を維持していくためには、年齢問わず熱意ある優秀な人材を獲得することが重要です。そのためにホームページ等で積極的に情報発信し、Youtube動画等による介護現場の紹介など、法人のPRに努めていきます。また将来を見据え、人材育成の観点から新卒求人の対応に力を入れ、各専門学校等への情報提供や関わりを深めてまいります。

- 1) ハローワーク等の各機関との情報共有及び収集
- 2) 各企業説明会の情報収集及び参加
- 3) 施設見学会の計画
- 4) 職員及び外部からの職員紹介の推進
- 5) 新卒採用の取り組み

BCP（事業継続計画）について

介護事業は被介護者の生命や身体、財産などの権利や利益を侵害しないように安全にサービスを提供する義務を負っています。BCPは、万が一の時にも冷静に適切に対応するために必要な計画として、令和5年度中に策定したBCP対策の計画を令和6年度以降も、継続的に検討し改善していくことで法人内に浸透させていくように計画を実施していきます。

介護福祉ICT化への取り組み

介護現場におけるICT（情報通信技術）化は、限られた人材で多くの高齢者を支えるための必須の手段として多くのメリットをもたらす重要な取り組みです。そのために厚生労働省も積極的にICT整備事業を支援する助成制度を準備しています。またICTを活用することで、介護職員の作業環境を改善でき、ストレスの少ない業務遂行を可能にすると期待されています。これは介護業界のイメージを刷新し、多様な人材の参入を促進する一助となります。

当法人においては、新たな機器導入などにより介護スタッフへの負担を感じさせることの無いよう、まずは館内Wi-Fi環境の整備をはじめとして少しずつICT環境の整備を行って行きたいと考えています。

経費削減について

エネルギー価格の大幅な上昇による水道光熱費の増加、諸物価高騰により、日常的にかかる費用についても大幅な増加が見込まれます。それに加えて、施設設備の老朽化による修繕及び更新費用等も予想されることから、最大限の削減意識を持って、徹底した経費削減に取り組んでいきたいと考えます。常に費用対効果を見極め、要否の判断基準を厳しく設定し、削減効果が実感できるよう取り組んでいきます。

◆会議・委員会他◆

名 称	内 容
管理職会議	法人事業運営他
事故防止対策委員会	事故・ひやりハット報告等の検証・対策
感染症対策委員会	感染症（食中毒）対策及び感染対策訓練
セラピスト委員会	リハビリの情報共有、リハビリスキルアップ
研修企画委員会	介護技術・接遇・事故防止・感染症等の職員研修企画
身体的拘束適正化検討委員会	身体行動制限・高齢者虐待
給食委員会	嗜好調査、アンケート等
安全衛生委員会	健康診断・職場環境・メンタルヘルス他
敬仁会祭り実行委員会	祭り企画運営
行事企画委員会	新年会・敬老会・餅つき会の企画

【ケアハウスやすらぎの里】

① 数値目標

- ・年間ベッド稼働率 95%

入居者の高齢化、入院等による空床ロスについて、退院可否、退居有無の判断を適切に行うために医療機関等と緊密な連携を図ります。

早期入居可能待機者への積極的な事前面談の実施を行い、空床時の早期入居に向けて取り組みます。

② サービス内容と生活の質の向上に向けた取り組み

- ・苦情・相談に対する迅速な対応を行い、入居者の満足度向上に努めます。

アンケートの結果を基に入居者の希望に沿えるよう、生活の質の向上を図り、入居者の満足度を上げるよう業務改善に取り組みます。

現在の職員数（適正職員数）で1人1人の入居者様への対応の適正化を図り、要支援者・要介護者の適正人数調整及び、ケアハウスでは対応に困難な認知症高齢者の各グループホームへの転居に向けた取り組みを実施します。併せて対応困難者の他施設への転居も状況に応じて実施し、生活の質を確保出来る体制構築に取り組みます。

③ 職員の質の向上、離職防止に向けた取り組み

- ・毎月の勉強会にて学ぶ機会を確保します。
- ・業務体系の見直しを常に意識して、職員への負担の分散化を図ります。
- ・法人内職員異動を活性化し、適材適所で長く勤められる体制構築を目指します。
- ・認知症や倫理など研修の参加率が上がるよう職員のモチベーションを確保します。

【大庭デイサービスセンター】

① 数値目標

介護：月 494名(1日平均17名)

総合事業：月 52名(1日平均 2名)

緩和型：月 78名(1日平均 3名) 合計：624名(1日平均24名)

※現在、定員30名/日に対し、登録数22名/日平均であるところを今後、定員30名/日に対し、登録数30名を目標とします。

② 事業所のアピール

- ・他法人の事業所との情報交換を定期的に行い、利用者を選んでいただける事業所となるように、アピールポイントの発掘に貪欲に取り組めます。
- ・居宅へのアンケートも定期的開催します。
- ・新たな利用者獲得を視野に入れ、営業活動の活性化を図ります。
- ・当法人が行う介護福祉の総合事業の実績を伝え、利用者にも長期間安心して利用いただける環境であることを、広報紙、SNS等情報インターネットを用いて積極的に広報いたします。

③ サービス向上

- ・職員によるサービスの質の格差を無くすため、支援の共通化を図り、職員個々のスキルアップの技能研修とマニュアルの再構築を図ります。
- ・利用者様及び、ご家族様へのアンケートを継続的に実施し、調査結果の公表並びに改善提案を行い、ご要望に対する即時対応に務め、信頼を獲得いたします。
- ・事業所内勉強会の毎月開催、外部研修への参加を行います。ただし、いまだコロナ禍にありますのでその時に状況に応じて対応を決定します。
- ・認知症高齢者の増加に伴い、一般型デイであっても認知症対応が必要となっていることから認知症に対する知識向上に努めます。また介護職員に認知症の研修を受講させスキルアップを図ります。

【グループホーム太陽の里】

① 数値目標

- ・年間ベッド稼働率 97%

令和4年9月から休止していたグループホーム太陽の里は、令和5年5月から営業を再開しました。

入院等による空床ロスについて、退院の可否や、退居の有無の判断を適切に行うために、医療機関等と緊密な連携を図ります。

早期入居可能待機者への積極的な事前面談を実施し、空床時の早期入居に向けて取り組めます。

② サービス向上

- ・職員スタッフの認知症専門職としての質の向上を目指します。
- ・施設内の研修、事業所の勉強会や施設外の「認知症介護基礎研修」「認知症介護実践者研修」「認知症介護リーダー研修」等へ参加しスキルアップを図ります。
- ・各グループホームとの意見交換、職場体験等を計画し、法人内の各グループホームで統一した支援が行なえるよう努めます。

③ 地域交流

- ・地域向けの新聞等を増版し、地域の方々への情報発信に努めます。
- ・感染状況が落ち着いた場合には、「太陽の里祭り」等を開催し、地域住民への参加を求め交流を図ります。

【グループホーム本郷】

① 数値目標

- ・年間ベッド稼働率 97%

入院等による空床ロスについて、退院可否、退居有無の判断を適切に行うために医療機関等と緊密な連携を図ります。

早期入居可能待機者への積極的な事前面談の実施を行い、空床時の早期入居に向けて取り組めます。

② サービス向上

- ・認知症専門職としての質の向上を目指します。
- ・施設内の研修、事業所の勉強会や施設外の「認知症介護基礎研修」「認知症介護実践者研修」「認知症介護リーダー研修」等へ参加しスキルアップを図ります。
- ・各グループホームとの意見交換、職場体験等を計画し、法人内の各グループホームで統一した支援が行なえるよう努めます。

③ 地域交流

- ・地域向け「本郷かわら版」の発行を継続し地域の方々への情報発信に努めます。
- ・感染状況が落ち着いた場合には、「本郷夏祭り」等を開催し、地域住民への参加を求め交流を図ります。

※その他の行事として、お誕生日会・散歩等を行います。

※コロナ感染の状況が落ち着いた場合は、徐々にボランティアの受け入れも取り入れます。

【グループホーム東出雲】

① 数値目標

- ・年間ベッド稼働率 97%

令和5年12月より1ユニット9名の利用者だった施設を、本来の2ユニット18名の利用者を受け入れるようにしました。

入院等による空床ロスについて、退院可否、退居有無の判断を適切に行うために医療機関等と緊密な連携を図ります。

早期入居可能待機者への積極的な事前面談の実施を行い、空床時の早期入居に向けて取り組みます。

② サービスの向上

- ・認知症専門職としての質の向上を目指します。
- ・施設内の研修、事業所の勉強会や施設外の「認知症介護基礎研修」「認知症介護実践者研修」「認知症介護リーダー研修」等へ参加しスキルアップを図ります。
- ・各グループホームとの意見交換、職場体験等を計画し、法人内の各グループホームで統一した支援が行なえるよう努めます。

③ 地域交流

- ・いまだ新型コロナウイルス感染症の状況にて地域交流が困難である為、地域向けの新聞等を増版し、地域の方々への情報発信に努めます。
- ・感染状況が落ち着いた場合には、「いうなん祭」等を開催し、地域住民への参加を求め交流を図ります。

【東出雲デイサービスセンター】 (令和6年下半期再開)

① 数値目標

- ・利用者 1日平均 12.6名
1月平均 252名

- ・ただし、経営計画策定時点では行政からの認可がいつになるかなど不確定要素が多いため、当面ゼロ予算として予算書には含めていません。

② 事業所のアピール

- ・利用者のニーズを考慮し、地域密着型デイサービスとして18名定員（月～金曜日）の事業として今期、下半期に再開できるように取り組みます。
- ・定期的に他事業所の情報収集を行い、利用者を選んでいただける事業所となるようアピールポイントを見つけ出します。

【太陽の里デイサービスセンター】 (令和6年下半期再開)

① 数値目標

- ・利用者 1日平均 7.2名
1月平均 144名
- ・太陽の里デイサービスは、令和4年5月に廃止の届け出をしておりますので、今年度の再開については再度、新たな事業申請となります。収容できる面積を考慮すれば、以前のサービスのように12名定員の認知症デイとしての利用が適当と考えられます。ただし、またいで入らないといけないバスタブであるなど、入浴介助がしにくい現在の浴室の改修工事などが必須となります。
- ・経営計画策定時点では行政からの認可がいつになるか、必要とされる介護スタッフの充足が予定通りに行くのかなど、不確定要素が多いため、当面ゼロ予算として予算書にはその数値目標は含めていません。

② 事業所のアピール

- ・現在、休止中の認知症デイサービスとして12名定員（月～金曜日）の事業として、今期下半期に再開できるように取り組みます。

【住宅型有料老人ホーム太陽の里 管理受託事業】

① 関係機関との連携

- ・長期の入居者が多く、年々高齢化しているのご家族様、担当の介護支援専門員及びサービス事業者等と緊密に連携し、諸問題の早期解決を図り、安心して生活できるよう支援します。
- ・稼働率を向上、維持するため入居待機者を確保する。そのために地域包括支援センター及び医療機関相談室等へ定期的に情報を発信し連携を図ります。

② サービスの向上

- ・毎日の安否確認時等を活用し、入居者様の状況確認をするとともに困りごとや不安を解消できるよう話を聞くよう努めます。
- ・入居者同士の交流を深める手段として季節に応じた外出行事及び定期的なイベントやサークル活動を企画する。併せて敬仁会主催のイベントに参加するなどして交流を深め、日々の充実した生活を支援します。

※各事業所の地域貢献等の内容につきましては、新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況によって、可能な形での開催等に努めます。

【事業所別年間行事計画】

	法人	ケアハウス	大庭デイサービス	グループホーム太陽の里
4月		お花見外出	お花見喫茶 お花見外出	花見外出
5月	監事監査 第三者委員会	春の遠足	鯉のぼり外出	八雲こいのぼり見学
6月	理事会 定時評議員会	笹巻作り	お菓子作り	笹巻作り
7月		七夕茶会	七夕会	七夕会
8月	理事会	夏のデザート会	夏祭り	夏祭り
9月		敬老会	敬老会	敬老会
10月		敬仁会祭り・運動会	お菓子作り・運動会 敬仁会祭り	芋煮会
11月	理事会	ドライブ外出	紅葉ドライブ	紅葉外出
12月		クリスマス会	クリスマス会 餅つき・忘年会	クリスマス会、お餅つき
1月		初詣外出・新年会	初詣外出・新年会	新年会
2月		節分 豆まき	節分祭・バレンタイン	節分祭
3月	理事会 臨時評議員会	ひな祭り茶会	ひな祭り会	ひな祭り会

	グループホーム本郷	グループホーム東出雲	東出雲デイサービス
4月	花見外出 花・野菜苗植え	花見外出	花見外出
5月	八雲こいのぼり見学	こいのぼり外出	こいのぼり外出
6月	笹巻作り	笹巻き	笹巻き
7月	本郷夏祭り	七夕会	七夕会
8月	スイカ割り	納涼会	季節行事
9月	敬老会	いっなん祭・敬老会	いっなん祭・敬老会
10月	本郷ミニ運動会	敬仁会祭り	敬仁会祭り
11月	ぶどう狩り、紅葉外出	紅葉外出	紅葉外出
12月	クリスマス会、 お餅つき	クリスマス会	クリスマス会
1月	新年会	お屠蘇会・初詣	初詣外出、新年会
2月	節分祭	節分祭	節分祭
3月	ひな祭り会	ひな祭り	ひな祭り

現在、コロナ禍で計画通り実施できないことも予測されますが、入居者様及び利用者様が少しでも楽しめるよう工夫した上で随時対応を心がけます。

【事業所別年間研修計画】

	ケアハウス	大庭デイサービス	グループホーム 太陽の里	グループホーム 本郷	東出雲事業所
4月	支援の基本	接遇・理念	事業所理念	事業所理念	事業所理解
5月	高齢者の皮膚疾患	身体拘束	記録について	記録について	水害対策研修
6月	高齢者の虐待防止	熱中症	熱中症・脱水の リスクマネジメント	熱中症・脱水の リスクマネジメント	食中毒
7月	認知症対応	認知症（1回目）	食中毒について	食中毒について	認知症症状別対応
8月	排泄支援（オムツ 当て方等）	介護技術	緊急時対応 心肺蘇生法とAED	緊急時対応 心肺蘇生法とAED	認知症症状別対応
9月	緊急時対応	事故防止対策	防災について	防災について	介護技術
10月	リハビリの目的	交通安全	感染症について	感染症について	事故防止
11月	感染症予防・対策	感染症予防・対策	事故防止対策	事故防止対策	認知症症状別対応
12月	アンケート結果から学ぶ	食の大切さについて	身体拘束について	身体拘束について	感染症
1月	アセスメントの重要性	認知症（2回目）	看取りについて	看取りについて	認知症症状別対応
2月	事故防止・対策	リハビリについて	高齢者に多い病気 と対策・対応	高齢者に多い病気 と対策・対応	認知症症状別対応
3月	1年間の振り返り	1年の振り返り	認知症ケア、事例 から考える	認知症ケア、事例 から考える	1年の振り返り

各事業所年間計画に沿って計画的に研修を実施し、自己研鑽に努め適切なサービス提供が実施できるよう取り組みます。